



# 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月13日

上場会社名 森下仁丹 株式会社  
 コード番号 4524 URL <http://www.jintan.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 駒村 純一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 武貞 文隆  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 06-6761-1131

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	7,555	3.3	112	—	132	316.9	117	212.8
25年3月期第3四半期	7,312	13.1	8	△96.8	31	△87.9	37	△88.6

(注)包括利益 26年3月期第3四半期 238百万円 (700.3%) 25年3月期第3四半期 29百万円 (△91.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	5.77	—
25年3月期第3四半期	1.84	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	12,832	8,130	63.4
25年3月期	12,867	8,045	62.5

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 8,130百万円 25年3月期 8,045百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	7.50	7.50
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	8.4	400	45.3	400	△3.1	360	△5.5	17.69

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	20,750,000 株	25年3月期	20,750,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	405,716 株	25年3月期	404,548 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	20,344,864 株	25年3月期3Q	20,346,518 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は当月7日に終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、アベノミクスという政府の経済政策等の追い風を受けた製造業を中心に景況感が改善し、株式市場の好転による堅調な個人消費が景況感を支えたことや、円安による輸出関連企業を中心とした企業業績の回復により、景気回復に広がりが出てまいりました。

当社グループの属する業界も、健康意識の高まりが持続し、規制緩和への期待は大きいものの、異業種を含む大手企業の新規参入や消費者の価格選好意識の存在などにより当社グループを取り巻く環境は依然として厳しいものとなっております。

このような状況のなか、当社グループとしては、創業120周年を迎え「伝統に縛られず、伝統を活かす」を理念に「伝統と技術と人材力を価値にする」をビジョンとして期初から積極的な諸施策・諸活動を展開しております。その結果、売上高は7,555百万円と前年同四半期と比べ242百万円(3.3%)の増収となりました。

利益面においては、売上総利益は3,970百万円と前年同四半期と比べ43百万円(1.1%)の増益となりました。またプロモーション費用の効率化に徹したこともあり、営業利益は112百万円と前年同四半期と比べ104百万円(1,290.0%)の増益となり、さらに営業外損益を加えた経常利益は132百万円と前年同四半期と比べ100百万円(316.9%)の増益となり、四半期純利益は117百万円と前年同四半期と比べ79百万円(212.8%)の増益となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の減価償却費は489百万円と、前年同四半期と比べ113百万円増加しております。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① ヘルスケア事業

当セグメントにおきましては、OTC医薬品・医療器具ならびに新商品「梅仁丹120」を中心としたオーラルケア商品が好調に推移しました。但し競合激化などにより主力商品の「ビフィーナ」をはじめとする健康食品群は苦戦を強いられました。その結果、ヘルスケア事業の売上高は5,251百万円と前年同四半期と比べ85百万円の減収に留まりました。

損益面では、プロモーション費用の効率化に徹したこともあり、セグメント利益は11百万円と前年同四半期と比べ5百万円(87.5%)の増益となりました。

#### ② カプセル受託事業

当セグメントにおきましては、医薬品分野のカプセル受託は引き続き堅調に推移し、フレーバー等新規受託先の増加もあり、その結果、カプセル受託事業の売上高は2,263百万円と前年同四半期と比べ334百万円(17.3%)の増収となりました。

損益面では、産業用等の新規分野での研究開発負担等経費の増加がありましたが、セグメント利益は102百万円と前年同四半期と比べ95百万円(1,521.0%)の増益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、12,832百万円と前連結会計年度末と比べ35百万円(0.3%)の減少となりました。総資産の内訳は、流動資産が3,966百万円と前連結会計年度末と比べ136百万円(3.3%)の減少となり、固定資産が8,866百万円と前連結会計年度末と比べ101百万円(1.2%)の増加となりました。流動資産の減少の主な要因は、回収期間の短いカプセル受託事業の伸展による売上債権の減少によるもので、固定資産の増加の主な要因は、株高による投資有価証券の時価評価増及び通販システム導入による無形固定資産の増加によるものであります。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、4,701百万円と前連結会計年度末と比べ120百万円(2.5%)の減少となりました。負債の内訳は、流動負債が2,067百万円と前連結会計年度末と比べ429百万円(17.2%)の減少となり、固定負債が2,634百万円と前連結会計年度末と比べ308百万円(13.3%)の増加となりました。流動負債の減少の主な要因は、支払期間の短いカプセル受託事業の伸展による仕入債務の減少及び設備関係支払手形の減少によるもので、固定負債の増加の主な要因は、長期借入金の増加によるものであります。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は8,130百万円と前連結会計年度末と比べ85百万円(1.1%)の増加となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年2月7日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表しました連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	902	874
受取手形及び売掛金	1,370	1,197
商品及び製品	816	924
仕掛品	353	249
原材料及び貯蔵品	313	332
その他	355	396
貸倒引当金	△8	△8
流動資産合計	4,102	3,966
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,352	2,494
機械装置及び運搬具(純額)	993	1,760
土地	2,220	2,225
建設仮勘定	1,317	90
その他(純額)	320	391
有形固定資産合計	7,205	6,962
無形固定資産		
投資その他の資産	196	340
投資有価証券	1,197	1,391
その他	172	179
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	1,362	1,563
固定資産合計	8,764	8,866
資産合計	12,867	12,832

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,163	1,014
1年内返済予定の長期借入金	270	380
未払法人税等	39	6
賞与引当金	147	77
返品調整引当金	25	27
売上割戻引当金	42	20
設備関係支払手形	120	36
その他	686	506
流動負債合計	2,496	2,067
固定負債		
長期借入金	1,462	1,672
繰延税金負債	530	590
退職給付引当金	331	369
その他	1	1
固定負債合計	2,325	2,634
負債合計	4,821	4,701
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,537	3,537
資本剰余金	963	963
利益剰余金	3,550	3,515
自己株式	△134	△135
株主資本合計	7,917	7,881
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	128	249
その他の包括利益累計額合計	128	249
純資産合計	8,045	8,130
負債純資産合計	12,867	12,832

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	7,312	7,555
売上原価	3,385	3,584
売上総利益	3,927	3,970
販売費及び一般管理費	3,919	3,858
営業利益	8	112
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	10	11
受取補償金	9	—
研究開発補助金	7	17
その他	11	10
営業外収益合計	40	40
営業外費用		
支払利息	14	16
その他	1	3
営業外費用合計	16	20
経常利益	31	132
特別利益		
固定資産売却益	—	9
補助金収入	20	—
特別利益合計	20	9
特別損失		
固定資産処分損	4	15
その他	—	0
特別損失合計	4	16
税金等調整前四半期純利益	47	125
法人税、住民税及び事業税	11	13
法人税等調整額	△1	△4
法人税等合計	9	8
少数株主損益調整前四半期純利益	37	117
四半期純利益	37	117

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	37	117
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7	121
その他の包括利益合計	△7	121
四半期包括利益	29	238
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	29	238

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ヘルスケア 事業	カプセル 受託事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,336	1,929	7,266	46	7,312	—	7,312
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	226	226	△226	—
計	5,336	1,929	7,266	272	7,539	△226	7,312
セグメント利益又は損失(△)	5	6	12	△4	8	—	8

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ヘルスケア 事業	カプセル 受託事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,251	2,263	7,515	39	7,555	—	7,555
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	233	233	△233	—
計	5,251	2,263	7,515	272	7,788	△233	7,555
セグメント利益又は損失(△)	11	102	113	△0	112	—	112

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。